

平成29年度 第4回佐渡東警察署協議会議事概要

開催日時	平成29年2月20日（火）午後1時30分から午後3時20分まで		
開催場所	佐渡東警察署講堂		
出席者	委員 (定数5人)	本間会長 磯部副会長 清田委員 (会長・副会長以下50音順)	計3人
	警察	中俣署長 増田次長 五十嵐会計課長 警務課長 生活安全課長 地域課長 水落刑事課長 交通課長 警備課長	計9人

管内の治安情勢

署長から、平成29年12月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 犯罪抑止活動の強化

- 特殊詐欺被害防止活動の推進
- 各種広報活動の推進

(推進結果)

- 年末における各種警戒活動の実施
- 「新潟県特殊詐欺・悪質商法被害防止の日」における広報活動の実施
- 小学校における不審者侵入訓練、銀行における防犯訓練の実施
- 両津地区カラオケ大会における特殊詐欺被害防止広報の実施

2 交通事故防止対策の推進

- 高齢者交通事故防止対策の推進
- 冬の交通事故防止対策の推進

(推進結果)

- 高齢者講習、安全講習の実施
- 更新時講習等における夜光反射材の配布
- 交通検問時における指導の実施
- 高齢運転者事故防止対策による個別指導の実施

- 臨時適性検査対象者等の発見活動の実施
- スーパー等店舗における交通安全広報の実施
- 飲食店等訪問による飲酒運転撲滅活動の実施
- 多目的検問等における事故防止広報の実施
- 各種放送等を利用した交通事故防止広報の実施

速度等取締り指針の策定

署長から、交通事故発生実態に合わせた各種取締り計画について説明があり、了承した。

諮問

1 犯罪抑止活動の強化

- 特殊詐欺被害防止活動の推進
- 各種広報活動の推進

【理由】

県内における平成29年末の振り込め詐欺を含む特殊詐欺被害は、208件、5億7,253万円（前年比26件増、1億1,197万円増）であり、未だ多額の詐欺被害が後を絶たず、犯行手口も悪質巧妙化しており、これらの犯行に対応していくためには、粘り強い様々な対策の継続が必要であることから、引き続き特殊詐欺撲滅に向けての諸対策を推進します。

なお、昨年当署管内において特殊詐欺の被害は発生していないものの、その他各種犯罪被害の防止のため、市民に対する積極的な情報提供や各種広報活動を推進します。

2 交通事故防止対策の推進

- 高齢者交通事故防止対策の推進
- 春の交通事故防止運動の推進

【理由】

昨年、当署管内における高齢者がかかわる人身交通事故発生件数は12件で、発生数全体の48.0%、島内全体では、29件、発生数全体の48.3%という状況でした。

また、高齢運転者による免許証の返納も、去年は72人と進んでおりますが、依然、運転免許を保有する高齢者の割合は高い状況であり、これら高齢者に対する事故防止のための各種施策は喫緊の課題であり、重点施策として継続的に推進します。

また、春の新入学期を迎えた子供たちの交通事故防止と、異動による転勤者など、地理不案内なドライバーが増加する季節でもあるので、これら季節特有の事故防止対策を推進します。

答申

佐渡東警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

質疑、要望・意見

1 カラオケ大会における広報は見えていて効果的だと思った。

- 昨年は、駅伝大会に警察署チームとして出場しました。特殊詐欺被害防止、交通事故防止の広報を実施し、マスコミにも取り上げてもらうなど、成果をあげることができたと考えています。今回のカラオケ大会での広報活動も、たくさんの人に注目していただきました。今後も、効果的な広報活動を実施したいと思います。

2 佐渡東署の特殊詐欺被害防止の寸劇は効果的だと思うが、活動状況について問う。

- 他署でも特殊詐欺被害防止のために同様の活動をしておりますが、当署では毎月実施しており、声を掛けていただければ、どこへでも出向いて上演させてもらっています。これからも、積極的な活動を通じて特殊詐欺被害を防止していきたいと思います。

その他

【協議会開催状況】

